

女性が輝くまち・東京シンポジウム【東京都】

地域の実情と課題

東京には、産業だけではない、あらゆるものが集積している。そのため、東京において女性の活躍推進を加速させるためには、産業、医療・福祉、教育、地域等多くの主体が女性の活躍推進に向けた具体的な行動を起こす必要がある。

目的・目標

シンポジウム参加者数300名、パネル・ブース出展等10団体以上を数値目標として目指し、先進的な取組を発信するシンポジウムを開催することで、産業、医療・福祉、教育、地域等あらゆる場における女性の活躍推進に向けた気運の醸成を図り、東京における様々な主体が女性の活躍推進に向けた具体的な取組を進めるようになる。

事業の特徴

- 基調講演やパネルディスカッションにより、女性の活躍を推進するための先進的な取組や、考え方などを強く発信していく。
- 出展ブースやプレゼンテーションを実施することで、来場者と出展者や、あるいは出展社同士の交流を促進し、情報交換やネットワークを生み出す場とする。

連携団体

有識者や経済団体、医療団体、教育団体、地域に関わる32団体からなる東京都女性活躍推進会議と連携して実施

事業の効果

- 参加人数は目標とほぼ同じ300名程度
- 出展ブースは目標を越え、12団体
- 基調講演はグローバルな舞台で活躍する有識者からメッセージがあり、参加者である管理職層や働く女性、学生等に大きな影響を与えた。
- パネルディスカッションでは、先進的な取組を行う企業のトップから外国人のジャーナリストなど、女性の活躍推進のための多様な取組や意識を発信した。

今後の課題

検証中ではあるが、より一層関係団体や多様な主体を巻き込み、ブースの出展数を増やしていきたい。

<女性が輝くまち・東京シンポジウム>

●基調講演

「東京への期待～女性の活躍推進に向けて～」

デボラ・ギリス氏

（カタリスト プレジデント兼最高経営責任者（CEO））

●パネルディスカッション

「女性の活躍と働き方の見直し～今、東京ができること ～」

・鈴木茂晴 氏（株式会社大和証券グループ本社会長）

・ドラ・トーザン 氏

（国際ジャーナリスト、エッセイスト）

・光畑 由佳 氏（有限会社モーハウス代表）

・舩添 要一 東京都知事

【コーディネーター】

・麓 幸子 氏（日経BPヒット総合研究所長・執行役員）

※その他、知事とギリス氏による特別対談なども合わせて実施

<併設ブース・ プレゼンテーション>

●シンポジウムが開催される会場のスペースにて、女性の活躍推進で先進的な取組を行う企業等によるPRブース出展（12団体がPRブースを出展）

●PRブース出展団体から3団体が、同会場のスペースにてプレゼンテーションを実施

●これらの実施により、来場者と出展団体などの交流やネットワークづくりを図っていった。



<ブースの様子>